



指定校番号	29040	学級活動	生徒会活動	学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	-------	------	---	------

## 平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台中学校	校長	津田和也	生徒指導主事	柳川紀美江
-----	-------------	----	------	--------	-------

<b>取組事例名</b>	『阿品台校区小中連携』				
<b>取組のねらい</b>	『キーワード かかわり・つながりあう教育活動』				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が、中学校生活の一部を理解し、中学生にむけての準備意識を高めることで、小学校生活の質を向上させる。</li> <li>・中学生が、小学生の手本となるように動くことで中学生としての自覚を促し、さらに小学生から認められることを通して、自己有用感を抱かせる。</li> </ul>					
<b>身に付させたい資質・能力</b>	自己指導能力（心を育てる）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で自分のスイッチを入れる。（自分で成長を確認し、改善しようとする力を身につける。）</li> <li>・コミュニケーション能力を身につける。（取組の運営や異年齢の生徒と関わることで身につける）</li> </ul>					
<b>取組の具体的内容</b>	『キーワード かかわる』				
<p><b>【つながり 1】</b> 年に 2 回、「小 5，中学 1 年」・「小 6，中学 2 年」に分かれて地域清掃を行う。中学生と小学生がグループをつくり、各小学校校区それぞれ各地域に別れて清掃をする。</p> <p><b>【つながり 2】</b> 「小学生，中学 3 年」出前掃除。中学 3 年生が母校へ帰り、小学生に掃除の仕方を教える。</p> <p><b>【つながり 3】</b> 「オープンスクール（授業見学・部活動体験），出前授業」 小学 6 年生が中学校の授業見学と部活動を体験する。 12 月中盤には，中学校教諭による授業体験をさせる。</p>					
					
<b>取組の課題・創意工夫</b>	『キーワード 中学生が主体となる』				
<p><b>【創意工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながり 1・2 の清掃活動は 1 学期に 1 回，2 学期に 1 回行う。1 回目は中学 2 年生と小学 6 年生が行い，2 回目は中学 1 年生と小学 5 年生が行う。このペアは来年，再来年に中学 1 年生と 3 年生として同じ中学で生活することになる。中学校が縦割り掃除なので，異年齢を意識した交流が自然とできるように仕組む。また，出前掃除では，母校で活動する中で近所で小さな頃から一緒に過ごしてきたお兄ちゃん・お姉ちゃんと更に交流が深まり，より良い関係づくりが地域で生まれるように意図している。</li> <li>・つながり 3 のオープンスクールでは，中学生の授業見学をさせることで，改めて自分自身の授業態度を見直し，残りの小学校生活の質を向上させることができる。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この小中連携行事（5 つ）の日程を合わせていくことが難しい。生徒主体の行事にしていくため，実行委員会を何度も開く必要がある。部活動のことを考えると時間確保が難しい。</li> </ul>					
					
<b>取組の成果（効果）</b>	『キーワード つながる』				

- ・活動の運営全てを中学生が行い、グループ活動の進行や一緒に掃除をする中で、小学生の手本として動くことで中学生として自信と誇りを持つようになる。また、活動を通して小学生に認められることで、より自己有用感を持てるようになる。
- ・実際に中学校の先生による授業体験をさせることで、専門性も含め、自分を律して行動していく厳しさ等を学ぶ。
- ・中学校生活の大きな位置を占める部活動体験は、児童たちが楽しみにしている活動の1つとしてより中学校生活への興味・関心が深められる。また、教えている中学生も自分達の活動の取組を見直したり、先輩としての自覚をより深めたりすることができる。

#### **今 後 の 展 開『キーワード 継続・改善』**

・この小中連携の活動は、質を高めながら継続してこそ価値のある活動といえる。小中それぞれの成長段階に応じて、どんな力をつけていけばよいかを確認し合い、具体的な取組を進め、明らかとなった課題を解決していく必要がある。よって日程調整も考えれば、これ以上もこれ以下もない。

#### **他校へのアドバイス『キーワード 定例の活動』**

・この小中連携の活動は、11年間続いている活動で、生徒達も当然行われる活動として定着している。また、地域清掃活動は地域の保護者の方の参加もあり、活動の幅が広がっている。

・毎週月曜日に【小中連携プロジェクト会議】を開催している。特別活動の打ち合わせだけでなく、管理職、SSW や SC、養護教諭、心の教室支援員そして三校の生徒指導主事が集まる定例会議として時間割に組み込まれている。前述した取組について日程調整がしやすい。